

「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」提言更新記者発表

2021年2月15日（月）、KKRホテル東京において「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」提言更新記者発表が開催された。

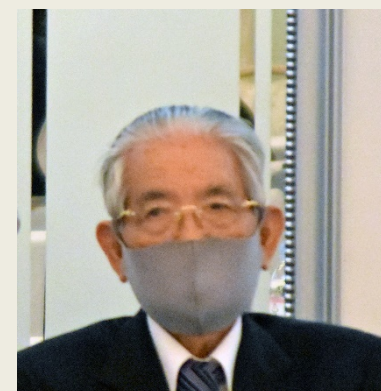
当研究会は、2017年3月に提言書を発表しており、約4年が経過する中で漢方を取り巻く医療環境の変化を提言書に反映し、この度更新した。

また、新型コロナウイルス感染症における現状や、重症化リスクの高い高齢者における漢方薬の果たす役割なども報告された。

新型コロナウイルス感染予防のため、発表にはオンラインでも参加可能とし、関係者にはYouTubeによるライブ配信も行った。当日は、オンラインも含めて20名の記者の方が参加された。

冒頭に、会長の高久史麿先生が挨拶され、2016年に創設された当研究会の経緯と共に本日の提言更新発表について説明した。

【高久 史麿 先生】



【講演】

「新型コロナウイルス感染症の現状について」



【忽那 賢志 先生】

忽那賢志先生は新型コロナウイルス感染症の最前線で治療をされており、具体的なデータを元に現在の状況を解説した。また、高齢者や基礎疾患のある患者ほど重症化リスクが高いことや「LONG COVID」として後遺症についてもそのデータを示した。

【提言概要説明】

フレイル高齢者がコロナで重症化しやすいことがわかっており、フレイルに対しては、全身状態を改善する漢方が適応すると考えられる。鳥羽研二先生は、新型コロナウイルス等の感染症に対して、宿主免疫能に着目したのが今回の変更点でもあると説明した。また、漢方製剤は多くの医師に使用され、診療ガイドラインへの掲載も年々増加していることから、漢方製剤は医療に必要不可欠であると述べた。

日本東洋医学会会長の伊藤隆先生より、新型コロナ感染症に対する学会主導研究の内容が紹介された。予防効果、治療、そして後遺症について複数のエビデンスの証明を目的としている。



【鳥羽 研二 先生】



【伊藤 隆 先生】



【合田 幸広 先生】

合田幸広先生は、漢方製剤の剤形変更に関するガイドラインの検討も順調であり、今年度中には発出見込みであると述べた。
また、漢方製剤の日本薬局方収載も順次行われており、漢方は確実に保健医療上重要な医薬品と位置付けられていると語った。

【質疑応答】

会場の記者の方からは多くの質問があり、活発な意見交換の場となった。
新型コロナウイルス感染症に関する質問もあり、感染後の消耗が甚だしいことや、感染予防の観点からも日ごろの栄養状態が重要視され、ここに漢方の位置づけが考えられるとの回答があった。現在学会で実施している学会主導研究の結果が待たれる。

国民の健康と医療を担う 漢方の将来ビジョン研究会

【提言書概要】
2021年2月 更新

研究委員の経歴

- 研究員1： 合田幸広 (2016年 8月 3日)
- 研究員2： 廣野真澄 (2016年10月28日)
- 研究員3： 島崎隆之介(2018年) (2016年11月21日)
- フェロー： 研究員が最多・穂巻孝子 (2017年 2月 9日)
- 漢方の将来ビジョン研究会2017 (2017年12月12日)
- 漢方の将来ビジョン研究会2018 (2018年 2月 9日)
- 漢方の将来ビジョン研究会2019 (2020年 2月 9日)
- 研究会設置年 (2021年 2月15日)

5年連続 同種別学会参加率

学会	参加率
漢方研究学会	100%
日本漢方学会	100%
漢方研究振興会	100%
漢方研究協会	100%
漢方研究連盟	100%

研究員組合

研究員： 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年) 合田幸広(2016年)

フェロー： 研究員が最多・穂巻孝子(2017年) 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年)

研究員： 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年) 合田幸広(2016年)

フェロー： 研究員が最多・穂巻孝子(2017年) 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年)

研究員組合

研究員： 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年) 合田幸広(2016年)

フェロー： 研究員が最多・穂巻孝子(2017年) 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年)

研究員： 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年) 合田幸広(2016年)

フェロー： 研究員が最多・穂巻孝子(2017年) 島崎隆之介(2018年) 廣野真澄(2016年)

国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会 提言概要

国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会 提言概要

漢方製剤の品質確保と安全性確保に向けた取り組みの推進

漢方製剤の品質確保と安全性確保に向けた取り組みの推進

漢方製剤の品質確保と安全性確保に向けた取り組みの推進

1. 医療における漢方製剤の必要性

2. 漢方製剤に求められる研究推進

3. 漢方製剤の品質確保と安全性確保に向けた取り組みの推進

4. 漢方製剤の品質確保と安全性確保に向けた取り組みの推進

5. 漢方製剤の品質確保と安全性確保に向けた取り組みの推進

漢方が国民の健康と医療を担うための提言

「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」 提言更新記者発表



会見者	
会長	高久 史麿 先生（地域医療振興協会会長）
代表世話人	鳥羽 研二 先生（東京都健康長寿医療センター 理事長）
世話人	合田 幸広 先生（国立医薬品食品衛生研究所 所長）
共催	伊藤 隆 先生（日本東洋医学会会長）
	加藤 照和 （日本漢方生薬製剤協会会長）
講演	「新型コロナウイルス感染症の現状について」 忽那 賢志 先生 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室 医長 国際診療部 副部長（兼任）